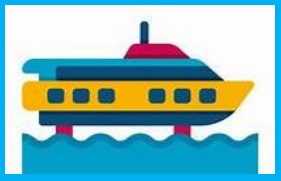
令和７年度　つかわき便り

令和８年２月２日発行

ゆうらくせん 遊楽船２月号



施設長　福永政和

先月は１月とは思えない春のような温かい日が続いたかと思えば、急激な寒波、春と真冬が繰り返す天気に体がついていけない感じがします。早いもので新年になってひと月が経ちました。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

さて、つかわきで３年間勤務したアイヴィーさん、マージさんが母国フィリピンに帰ることになり、１月23日（金）にお二人とのお別れ集会を開催しました。

来日した時、鹿児島は大雪。常夏の国フィリピンで育った彼女たちにとっては初めて見る雪の美しさに感激しながらも、寒い真冬からの新生活に戸惑いのスタートだったと思います。あれから３年、私たちの仲間として利用者の皆さんのために頑張っていただきました。特定技能実習生として働きながら、霧島市や鹿児島の文化に触れ、また、県内・国内の旅行など異国での生活を満喫できたのではないでしょうか。また、これらの体験やつかわきならではのイベントなど多くの経験は、今後の人生に役立つものと信じています。今では日本語も上手に話せるようになり、利用者との関係も年々深まっていただけに帰国は残念です。しかしながら、これも彼女たちの今後の人生、やむを得ないものと思います。母国に暮らす親への仕送りも欠かさずやってきたとのこと、戦後間もない日本の姿がそうであったように、成長した子供たちが異国へ出て、親や家族のために働く姿、家族を思う心にも感心させられました。戦後の高度経済成長期を経て、懸命に働き、豊かになった日本ですが、このところ少子化の影響で労働者不足が深刻化し、現在多くの外国人労働者が存在します。県内にも1,200人を超える外国人労働者がいるとのことですが、人手不足を補うべく私たちのつかわきでも貴重な存在となってくれました。二人の今後の活躍を祈りたいと思います。

ところで、先月は多くの利用者さんがインフルエンザに罹患してしましました。心配をおかけしましたが、現在はすっかり体調を取り戻し、元気に過ごしていらっしゃいますので、ご安心ください。利用者の皆さんが楽しみにされていた恒例の初詣は、延期して今月に実施することとしています。私自身は一足先に霧島神宮へ初詣し、この一年の利用者の皆さんと職員の健康、施設の発展をお祈りしてまいりました。

なにはともあれ、健康と元気が第一。在職している外国人の職員は感心にも日本人よりあまり体調を崩すことはありません。国民健康保険が整っていない諸外国の人々は、高額な医療費の支払いとならないよう、かねてから健康には随分気を使っているとも聞きます。昔と比べると住宅環境や食文化も豊かになったとはいえ、気力や体力は昔の方々の方が元気だったような気がします。たとえ粗食でも季節に応じた食べ物を大切にしながら、体を動かさざるを得ない労働が体を作っていたのだと思います。年を増すごとに体力の低下は避けられないものですが、この寒さに立ち向かうためにも気持ちだけは、前向きに、若々しさを失いたくないものです。まだまだ寒い日が続きます。どうぞ、ご自愛ください。

アイヴィーさん、マージさん　お元気で！

　つかわきで３年間勤務したアイヴィーさん、マージさんが母国フィリピンに帰ることになり、１月23日（金）にお二人とのお別れ集会を開催しました。

　二人のこれからの幸せを祈り、自治会を代表して桑木野京子さんが挨拶を、漆間久美子さんが歌を歌ってくれました。集会後にはハグしたり、握手したりして別れを惜しみました。フィリピンに帰られても、時々、つかわきのことを思い出して元気で頑張ってほしいと思います。

永田さん、母校でのパン販売

　１月２７日（火）、武岡台特別支援学校にて学校の祭り「たけよう祭り」が開催され、永田修一さんと桑木野京子さんを同行して、パン販売に行ってきました。永田さんはこの学校の卒業生であり、この３月で１年が経ちます。久しぶりの母校の先生との再開にとても嬉しそうにしていました。学校の職員や卒業まで入所されていた施設の職員の皆さんも、こうした来校を歓迎し、大変喜んでくださいました。

Happy Birthday

　１月生まれの利用者さんの誕生会を１月２５日（日）に開催しました。１月生まれは、堀切淳一さん、新村栄子さん、大田繁樹さん、小原安弘の４名です。入院中の新村さんへも届けました。早く、元気になって欲しいです。

　やはり、プレゼントは一番のお楽しみ。皆さん、とても嬉しそうにされていました。

自治会主催の誕生会